

○岩手南部森林管理署の「採材現地検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。令和5年8月8日（火）に岩手県西和賀町の志賀来国有林で開催された「令和5年度 採材現地検討会」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は晴天のなか、林業関係団体や県・市町村担当者、署管内の林業事業者など60名を超える参加を得て開催されました。岩手南部森林管理署長の挨拶、署担当者からの現地概要の説明、岩手県森林組合連合会からの市況動向と採材時の留意事項等についての説明に続いて、青森事務所からは需要動向についての説明とともに、スギ等針葉樹の4m採材の推進や適切な仕訳の徹底、広葉樹の定尺にこだわらない一般材の採材や作業日報の電子管理によってボトルネックの解消を行う「生産性向上の取組」等に関して協力をお願いし、採材の検討に移りました。

事前に試供木として準備したスギ3本、広葉樹1本のうちスギ3本を対象に3班に分かれ採材の検討を行いました。各班毎に1本の試供木について採材の検討を行った後、それぞれの班から採材案の説明があり、それに対して署の担当者より採材の解説や留意事項等の説明がありました。また、試供木1本について実際に造材を行い、丸太になった状態で曲がり(矢高)の確認や一般材での採材の可否の検討などの目合わせを行うとともに、準備した広葉樹についても岩手県森林組合連合会より採材の解説があり、参加者間で採材への認識を共有することができました。

最後に青森事務所から、採材検討の講評と労働安全等についてお話させていただき採材検討会を終了しました。

青森事務所では今後も採材検討会や労働災害防止協議会へ積極的に参加し、国有林材の有効な利用と労働安全に貢献して参りたいと考えています。



(スギ採材の検討)



(曲がり(矢高)の確認)